

(様式2)

令和4年度 福祉体育館及び体育施設等施設指定管理者 モニタリングレポート(年次評価報告書)

施設名	豊明市福祉体育館及び体育施設等
指定管理者名	シンコースポーツ中部株式会社
指定期間	平成31年 4月 1日 ~ 令和6年 3月31日 (R4年度・4年目)
所管課	生涯学習課

1 業務履行の確認・評価

	年次評価
適正な施設の運営・維持管理が行われているか。	A
<p>【施設の運営に関する基本的事項】</p> <ul style="list-style-type: none">新型コロナウイルス感染予防対策を講じた上で、適切に業務を遂行している。業務日報を毎日記録し、都度見返して業務の改善に役立っている。大会や施設予約受付開始日などには人員を多く配置するなど工夫している。勅使池耐震工事のため、7月までターゲットバードゴルフ場は利用中止となっていた。 <p>【自主事業に関する事項】</p> <ul style="list-style-type: none">昨年度人気の高かったヨガ教室を今年度も行い、盛況であった。自主事業の最終日に参加者アンケートを行い、要望等を集約し事業改善に活かしている。全ての自主事業において感染症予防対策を適切に行った上で実施をした。 <p>【施設の維持管理業務に関する事項】</p> <ul style="list-style-type: none">定期点検を実施し、必要に応じて修繕をするなど安全に利用できる施設の維持に努めている。また、定期整備以外に、必要に応じて自社作業にて除草作業やグラウンド整備を行なうなど、施設を良好な状態に保てるよう努めている。老朽化により様々な箇所で支障が発生するものの、それを適切に利用者に注意喚起し、安全管理に努めている。消耗品も適切に補充され、利用者から消耗品の不足について指摘されることはない。	

2 サービスの質に関する評価

提供するサービスの水準が確保されているか。 また、サービスの向上が図られていたか。	年次評価 A
<p>【利用者アンケート(満足度調査)に関する事項】</p> <p>調査の概要</p> <ul style="list-style-type: none">9月、3月に来館者を対象に施設や職員に対する満足度のアンケートを実施した。 9月実施時回答者は130名、男性55%、女性45%、年齢層は10代40代70代以上が多かった。 3月実施時回答者は150名、男性29%、女性71%、年齢層は50代60代70代以上が多かった。 また、常時意見箱を設置し、寄せられた意見に対する回答を公表のうえ改善に努めている。 <p>調査結果の概要</p> <ul style="list-style-type: none">アンケートの結果、全ての項目で普通以上が83%以上となった。まあ満足以上が一番高い設問も多くもあり、やや不満以下が10%以上の設問はほとんどなく、利用者からの評価は高水準であると言える。自動車や自転車での来館者が9月、3月とも90%を超えることから、バス等の公共交通機関での来館が難しいことがわかった。 <p>【自主事業に関する事項】</p> <ul style="list-style-type: none">ヨガ教室が好評を博しており、教室数の増加を検討している。今後も市民ニーズを把握し、盛り上がる教室等の開催が期待される。 <p>【サービス水準や利用環境に関する事項】</p> <ul style="list-style-type: none">業務上の問題点が露見した場合、スタッフの研修を実施するなど問題点の解消に向け努力している。洋式トイレに便座消毒液設置を行うなど、衛生環境の強化を図っている。バレンタインデーやホワイトデーにトレーニング室利用者に向けお菓子を配付するなどささやかな喜びに繋がるサービスも提供しており、好感が持てる。	

3 サービス提供の継続性・安定性に関する評価

健全な収支状況のもと、継続的・安定的にサービスが提供されているか。 また、団体の経営状況は健全か。	年次評価 B
<p>【施設の収支状況に関する事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 例年のように社会福祉法人豊明福社会の方が作った焼き菓子や、プロテイン、焼き芋の販売等物販に力をいれ、収入増加の取組を行ったが、想定よりも販売できなかった芋のロスなどが原因で収支に悪影響を与えてしまっている。 しかし、物販強化のため新商品の研究を行っており、評価できる。 時勢的な要因によって光熱水費、人件費が急騰しており、これによって施設のみならず会社全体の財政状況が悪化している。 <p>【団体の経営状況に関する事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 第6期(令和4年4月1日～令和5年3月31日)の売上高は増加している。 売上原価は前期より増加している。 その結果、売上総利益金額は増加となっている。 販売費及び一般管理費の合計は、前期より減少している。 純損失金額が発生している。 その原因は前期と同様に今期はさらに事業規模の拡大で売上高は増加しているものの、それに伴い売上原価算入の労務費・経費が増加しているためである。 貸借対照表では、繰越欠損金が発生している。 	

総合評価	B	<p>【審査委員会コメント】</p> <p>利用者からの要望に応えつつ、安定したサービスが提供されている。時勢的な要因によって赤字にはなっているが、持ち前のノウハウによりこの難局を乗り越え、利用者の利用しやすい施設を目指しつつ、利用者に喜ばれるサービスの提供を引き続きしていただきたい。</p>
------	----------	---

- 【年次評価】 (評価基準)
- S(優良) : 区分評価が全てA以上、かつSが過半数以上。
 - A(良好) : 区分評価が全てA以上。
 - B(課題あり) : 区分評価にBがあった。
 - C(要改善) : 区分評価にCがあった。

- 【総合評価】 (評価基準) (目安)
- S(優良) : 市の要求水準を上回るサービスが提供されている。 年次評価が全てA以上、かつSが2つ以上。
 - A(良好) : 市の要求水準に沿ったサービスが提供されている。 年次評価が全てA以上。
 - B(課題あり) : サービスの内容の一部に課題がある。 年次評価にBがある。
 - C(要改善) : サービスの内容に改善が必要である。 年次評価にCがある。